様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月　16 日

１．職名・氏名　経済学部准教授・金　花

２．学位　　学位　博士、　専門分野　商学、　授与機関　一橋大学、　授与年　2014 年 3 月

３．教育活動

⑴講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
企業論（4 単位）　1 年

②内容・ねらい
企業は社会を構成する主要な存在の一つであり，今日の私たちの日常生活も企業の存在を抜きにして考えることはできない。では，企業とはどのような存在なのか，企業の活動や経営は具体的にはいかなるものなのか。また，企業はどのような主体といかに関わっているのか，そして，企業は利益の追求だけを目指しているのか。本講義では多様な視点から企業を見つめ，経営学の入門科目として企業への理解を深めることを目指す。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
初学者向けに，企業の様々な側面を理解できる主要なトピックを網羅的に扱った講義資料を作成し，これを主要な教材として使用した。また，講義内容のより深い理解のために，講義内容に即した事例を学生が自ら探し分析するというワークを繰り返し行い，学生によるアウトプットにも努めた。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
日本経営史（2 単位）　2 年

② 内容・ねらい（自由記述）
本講義では，グローバルな視点から日本企業の経営・経済活動がどのように変化してきたのかを学ぶ。そのため，まずイギリスとアメリカに目を向け，世界経済の移り変わりを理解する。その後，戦前・戦後の日本経済に焦点を当て，日本がどのように経済成長を実現したのかを学ぶ。最後に，新興国も視野に入れることで，後発国のキャッチアップを理解し，日本企業が直面する課題を考察する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
毎回 20～30 頁の講義資料を作成し，これを主要な教材として使用した。講義内容について学生の理解度を把握するために，毎回小テストを実施した。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
基礎ゼミ（2 単位）　2 年

② 内容・ねらい
社会や経済の発展においてイノベーションは重要な役割を果たしており，近年，イノベーションやその担い手となるアントレプレナーが注目されている。アントレプレナーやアントレプレナーシップとは何か。イノベーションの実現において，それらはどのような役割を果たしているのか。本ゼミではこのような問題意識をもとに，様々な企業活動に対する理解を深めてくことを目指す。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
基礎ゼミでは，教科書を輪読した上で，報告とグループディスカッションを中心に進め，毎回学生により活発なディスカッションが行われた。また，レポートを毎回提出するよう求め，講義内容を文章にまとめる能力の育成に努めた。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅰ（4 単位）　3 年

② 内容・ねらい
企業は社会の変化を生み出す重要な存在である。特に，イノベーションやそれを担う企業家は，企業の経営活動や社会に大きな影響を及ぼす。本演習では，前期に教科書の輪読を通じて，複雑な社会現象を理解するための基本的な思考法を身に付けるとともに，イノベーションや企業家の視点から企業の経営活動を理解することを目指す。また，後期にゼミ内の発表を通じて，自身の興味・関心のあるテーマを探り，それについて自ら調べ，文章にまとめ，論理的に発表する能力を養うことを目指す。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
前期は，教科書の輪読を踏まえて，専門知識を身に付けると同時に，報告・ディスカッション，レジュメ作成の訓練を中心に行った。後期は，レポート作成の指導を中心に行い，各自が関心のあるテーマについてレポートを作成し，発表とディスカッション，フィードバックを繰り返した。ゼミでは学生の主体的な参加を促した。

① 担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅱ（4 単位）　4 年

② 内容・ねらい
演習Ⅰでやってきたことをもとに，卒業論文ないし卒業ゼミレポートの執筆を進める。具体的には，興味・関心のあるテーマあるいは社会現象について，自ら課題を設定し，文献レビュー，資料収集，調査分析を行い，結論を導き出す一連の作業を行う。これらの一連の作業を通じて，論理的な思考力，調査能力，分析力，文章力などを養うことを目指してきた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫
ゼミでは，グループディスカッション，事例研究に力を入れ，指導の際には，学生へのフィードバックを重視してきた。

(2)その他の教育活動

内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①　著書 『福井県企業・組織事例に学ぶ経営理論』，共著（第 6 章「前田工繊の長期成長戦略」を担当）白桃書房，近刊。 【　1 本】
②　学術論文（査読あり） 「前田工繊の長期成長戦略についての考察 - 多角化をめぐる議論の新地平 - 」，単著，ふくい地域経済研究（第 37 号），2023 年 9 月。 【 1 本】
③　その他論文（査読なし） 【本】
④学会発表等 【　件】
⑤その他の公表実績 【　本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

(3)特許等取得

(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

高校開放講義（「企業目線で考えるということ－経営学への招待－」，福井県立丸岡高等学校，2023 年 11 月 1 日）

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
１年生相談担当教員（2022 年 4 月～現在に至る） 予算委員会委員（2023 年 4 月～現在に至る）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など